

組合だより

1985 5 No.1

むせんとう

創刊号

広報発行ご挨拶

理事長 阿部 定雄

広報部の部長高橋豊美さんを初め、部員の熱心なる討議の結果、広報発行する運びになったことは、誠にうれしい限りであります。

報告によると、月刊、季刊、あるいは年刊にするかについては、後日部員会合の折りに決定するという話であった。広報を発刊するということは、組合員全体の中に、新たな結束をうながすものと信じ

組合広報紙

むせんとう 発行を祝して

東北電力原町営業所
配電課長 菅野 武二

このたび相双地区電気工事協同組合の課題情報を集めた組合広報紙「むせんとう」を発刊されるにあたり、一言お祝いの挨拶を申し上げます。申すまでもなく今日ほど情報

の重要性が叫ばれている時はありません。当社といたしましても貴組合の皆さまには機会あるごとに情報をお知らせいたしてお

りますが、ここに組合広報紙を発刊し、更に親睦をはかり、かつまた、相双地区の電気工事業界の発展に寄与されますその役割は極めて大きいものがあります。相双地区電気工事協同組合も発足三十六年目を迎え、協同組合基盤の上に立って役員を中心に組合員相互が結果し、一層の経営努力に努め、また

く、みなさんの声を、みんなで聞き改善しながら、和合第一に歩むべきものと考えられる。そのような観点からして、組合とは一人一人のものであると同時に、一人一人が責任と発言の場だと思ふ。今回、第一号の発行によって、今後の運営と、長期の継続を願って止まない。特に広報部全員の情熱を期待して、組合の一層の円滑化に努力して欲しいと願っております。

地域社会の皆さまとの提携を一段と強め積極果敢に業務に励まれ多大の業績を上げられその進展を見ることができますことは大変喜ばしいことと存じます。

当社も常に「地域の発展なくして会社の発展はない」との経営理念のもと事業活動をすすめてまいりました。

おかげさまで貴組合の皆さまからは特段のご理解とご協力をいただき心からお礼申し上げます。このような時にあたり貴紙

が創刊されますその意義は誠に深いものがあり、電気工事業界はもとより発刊関係者とともに心から喜びを分かち合いたいと存じます。どうか貴紙におかれまして

題字について

広報部

広報紙発行について、広報部の席上でまづ広報紙の題字をどうするかが問題になりました。これから組合員のみんなに愛され、又みんなのものとして育てていかなければならぬのだから、みんなからの募集をとも考えたが、広報部で考えようということになり、伝統と歴史のある無線塔ということで一致しました。

長い間原町市民から慕われ、原町のシンボルでもあった地上二〇〇米の無線塔も昨年解体されましたが、それを惜しむかのように地元有志のみなさんにより、ミニ無線塔が建設されて、永久保存されることになった。

相双電気工事組合事務所も、その目の先にあることだし、この伝統と歴史にあやかりまして「むせんとう」と少しやわらかい味と慕しをもたせました。

は今後とも、紙面の充実をはかり皆様親しまれる電気工事を通じての技術・知識・安全など課題情報として、益々発展されますよう祈念いたします。発行のご挨拶いたします。

創刊号発行を祝して



東北電力相馬営業所長
川村和志

直しが行われている状況であります。

東北電力も創立以来「地域繁栄への奉仕」を経営理念に掲げております。

相双地区電気工事協同組合
広報紙「むせんとう」が創刊されることは、組合員のご理解と、ご協力によるもので心から喜び申しあげます。
さて我が国の経済状況を見ると、昭和五十一年第一次石油ショック以来、高度成長から低成長に現在は安定成長へと移り変って来ました。しかし相双地区を見るに、電源ベルト地帯をかかえ、他地方に見られない経済性に富んだ地区ではないかと思われま

一方他地方を見ると、地方財政補助金の削減・地方産業の低下などによる人口減などがあり、地方財政は困難のようです。
このような状況のなかで、各市町村では自助努力として、地域の電源や技術を利用した「村おこし」や「ふる里起し」など、地域産業おこし活動が盛んに展開されて、財政建て

たがって、昭和五十年より建設が始められた東京電力福島第二原子力発電所の建設も九〇％完成いたしました。
建設されたのは、一〇〇万KWの発電所が四基で、既に二基は営業運転にはいっており、一基は現在各検査が行われておりまもなく運転が始められるとのことです。残る一基も建設が終了環境の整備が行われておりまもなく完成されます。
この建設に参加した会社は大手メーカーの鹿島建設、日立プラント等各下請け会社を入れると、東電に登録された会社は実に六〇〇社だったとの事でした。
現在建設はほとんど終了、定期検査関係ビル代行など二五〇社位従事しているとのこととす。

第二原発 完成近し

ちまちちらと空家となつて居ります。したがって建設にたずさわった我々電気工事業者として、その影響を受けているのが事実です。
ただ一つ救いとなるのが電源三法による地元に対する交付金によって建設される公共物だけとなります。



電気工事材料総合センター

◆主要取扱メーカー◆

- 松下電工(株) 三ツ星 川崎電気(株) 明工商事(株)
- 東芝電材(株) 岩崎電気(株) 立石電機(株) 電成興業(株)
- 松下電器産業(株) ネグロス電工(株) 日東工業(株) 三桂製作所
- 古河電気工業(株) テンパール工業(株) 住友3M(株) 未来工業(株)
- 矢崎総業(株) 春日電機(株) 三英社 大光電機
- 北日本電線(株) 岩淵金属工業(株) (株) 共和
- 中央電線(株) (株) 戸上電機製作所 オーヤマ照明(株)

岡田電気産業株式会社

原町営業所

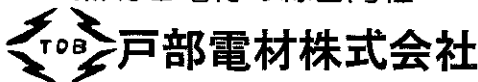
原町市上波佐字原田178 ☎22-5105
本社 いわき市平谷川瀬字明治町27
営業所 福島・郡山・会津・日立・水戸・柏
龍ヶ崎・土浦・白河

一般住宅から 学校 ビル 工場 屋外施設まで……
あらゆる建築物の電設資材と照明をトータルに演出！

— 明るい 街づくりに貢献する —

松下電工、松下電器産業、北日本電線、岩崎電気、日東工業

照明と電材の総合商社



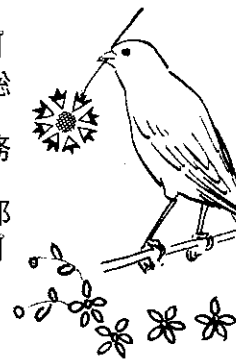
☎980 仙台市土樋97番地 ☎代表 25-7511番

原町営業所 ☎975 原町市日の出町115の2
電話 02442(代)(3)6106番

福島営業所 ☎960-01 福島県瀬上町字桜町三丁目12-3
電話 0245(代)(53)8551番

いわき営業所 ☎970-11 いわき市好間町下好間鬼越47-1
電話 0246(代)(36)5533番

各部会だより



『総務部』

部長 稲垣 勝

五十九年七月二十一日第一回総務部会を開催

一、総務部会は財務管理に
関する業務

一、定款及び規約、その他
に関する業務

右の二項目について審議され、定款については知事届出の事でもあり、附帯規定を作成していく方針を次回より協議することにした。

また理事長より組合費未収金の取り扱いの問題について協議するよう要請がありましたので、討議の結果すべて定款第十三条を実行すべきとの結論に達した。
次に小島尚氏の理事辞任を認めました。

『広報部』

部長 高橋 豊美

去る三月二十六日広報部会を開催、部員十八名中九名出席して開催された。

一、広報部員の任務と対応
について確認した。

一、広報紙発刊について、
対象読者について話合う
一、テーマの処理と構成の
ポイントについて部長説
明する。

一、広報紙の題字について
組合だより「むせんとくう」
とする全員の一致をみる。

一、発刊の時期について次
回協議すること。その他
予算、原稿収集等につい
て協議し理事会へ報告し
た。

五月十日第二回部会開催

一、発行は年三、四回とし
発行部数一、二〇部とした。
頁数は今後の原稿収集に
より増頁を考えるが創刊
号は四頁とした。

『厚生部』

部長 蒲生 忠七

去る三月七日厚生部会を組合会議室で開催、出席者十二名
一、各種保険関係の加入推
進について

一、慶弔規定の変更につい
て。第三条を緩和する。

一、電気工事安全講習会を
開催されたい。

一、部会を年三回程度開催
したい。費用十万円程予

算化されたいと理事会に
要望する。

『事業部』

部長 小沢 文夫

去る四月二十日より六十年
度電気工事士受験講習会を開
催しています。

講師は東北電力原町営業所
の管野課長さんを始め片平・
青戸・楽・小椋・植松・二係
長の各氏により五月二十六日
の筆記試験を目指して、各事
業所の従業員八名が参加して
各課目の特訓を受けて居りま
す。全員必勝を期して、第二
次試験にのぞまれる事を念願
いたしております。

高圧ケーブル工事技術 講習会開催について

標記講習会を東北電気協会の主催により下記のとおり開催されることになりました。当組合への受講割当は10名となっておりますので、申し込み順といたします。

記

1. 開催日時及び会場
7月2日～3日
いわき市職業訓練センター
(時間は9時～17時)

2. 受講料 1人24,000円
(材料テキスト代を含む)
受講希望者は電話にて5月31日 までお知らせ下さい。

昭和60年度

全日電工連

第三者損害賠償保険

一 自動継続方式 一

前年度のご加入内容で継続される方は申込書の提出は不用です。

詳細は各単組事務所へお尋ね下さい。

全日本電気工事工業組合連合会



ワンルーム・ワン換気の時代をひらく

三菱空調扇換気扇・空調換気扇 ロスナイ



三菱からはじまった

すびく蛍光灯

ICルグイック

特許実用新案 13440194件



三菱電球形蛍光灯

東北三菱電機商品販売株

福島支店原町営業所

原町市桜井町1-173
電話(0244)22-8821

和合について

阿部定雄

この世の中は一人では生きてゆけない。みんなの力を借りて生きている。従って我々一人一人も他人の役に立たなければならぬまい。

会って組合の初代理事長の高橋幸四郎さんは、様々な善意をこの世に遺していった。ある組合員が私に聞かせてくれた。あるとき下請け工事をして請求書を出したところ、これでは実費だけではないか、といって請求額にかさ上げして支払ってくれたそうだ。

社会が次第に人間味を失って、今どきそんな美德のある人は少ない。寧ろ人を殺す者の方が多くなったようだ。何も、銃や刀物で殺すばかりが人殺しではない。殺しても平然としているような悲しい世相のようだ。

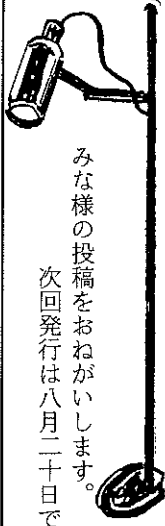
世の中には因果関係というのがある。それは、他を殺せば自らも殺されるということだ。従って他に善意を示せば善意が還って来ると言う仕組み

みのもので、医学などでは反応ともいっている。だから、善悪何れを選択しようかと、みな各自の思慮による。すなわち何れを望むかは各自が考えて行動すべきものである。

人間は自分の力量以上に飾りたがる。飾りは所詮飾りであってホンモノではない。どんなに飾りたてた処で、体内から発散するものを覆い隠すことは出来ない。常に善意に生きている人の前では自ずと頭が下る。ホンモノだからである。この善意の生き方こそ和合を創り出す元だと思ふ。

かつての理事長高橋さんにはそれが有っていた。今でも時々想い出して、知らず知らずと北の方を向いて頭を下げてしまふ。何故か私の心を魅了してしまふ。

社会は和することが大切だと思ふ。和するには自我を殺すことである。そして自分に出来る範囲中で世につくすことであろう。



みな様の投稿をおねがいします。

次回発行は八月二十日です。

〜広報部地区担当者名〜

皆様の広報部に対するご要望や投稿がありましたら、下記の担当者へ申し付けください。

地区	担当者
相馬地区	栗村盛彦(有) 栗村電機(株)
	早川武邦 早川電気工
	森保雄夫 北双電設
	内村晴洋 西内電設
原町地区	大谷一和(有) 大地電設
	津田吉高 津田電気工
	佐藤清教 鹿島電機
鹿島地区	和田健一 旭電気商
小高地区	大渡敏一郎 波辺電気工業
浪江地区	野里正四郎 紺野電気工業
	中西沢 志賀電機
双葉地区	高橋五豊 高橋電機
双葉地区	高橋五豊 高橋電機

編集後記



理事長の発刊あいさつにもあるように、かねて希望であった組合広報を発行することになりましたが、なかなか取りつく間がなくのびのびになってしまい誠に申し訳なく思っています。

担当の高木理事に尻をたたかれまして、それでは総会までに創刊号を発行しようとい

うことになりました、第一回の会合から部員一同無い頭をしぼりながら、構成・編集に取り組んでまいりましたが、何しろ素人の集りですので、見苦しい点多々あった事とおもわれます。

構成にあたっては、まづ読んでいるただく相手の層をどうするかでした。紙面を通して組合員の情報交換と、意志の疎通をはかる事が目的とされて居りますので、だとするならば組合事業主はもちろんだが、その従業員、家族みんなに読んでいただけるものにしたいと欲張って見ましたが、

次回からは業界はもちろんです、奥様方の漬物のお知恵でも良く、自慢の盆栽の照会でも、また組合に対する要望など、とにかく広く楽しいものにしていきたくとスタッフ一同皆様の投稿を待っています。

今回は写真の一枚もなく、また各欄の整理も定かでないから勉強していきたくと思ひます。取急ぎの編集で皆様のご叱咤は覚悟しています。 編集子より

自主点検を
励行しよう

